

小5


◆江戸時代（2）◆

下巻11回

氏名

得点

各4点
100点

1	江戸時代に幕府や藩が新しい耕地を開墾 ^{かいこん} することを(①)という。この結果、豊臣秀吉から100年ほどの間に耕地は(②)倍になった。	①	②
2	農業の肥料として、魚をつかった肥料を(①)といい、菜の花をつかった肥料を(②)という。	①	②
3	問2の魚をつかった肥料とは、主に九十九里浜などで地引き網でとった()という魚を肥料にした。		
4	大商人は農民たちを工場に集め、分業で製品を作らせたが、このような生産方法を()という。		
5	問4の工業の実例としては、野田の(①)や、灘 ^{なだ} の(②)、桐生の絹織物 ^{きりゆう} などが、このやり方で生産されていた。	①	②
6	商品作物の生産がさかんになり、最上川流域で作られた(①)や、阿波 ^{あわ} (徳島)で作られた(②)などの染料がさかんに作られた。	①	②
7	農具として、深く耕せる備中ぐわ ^{びちゅう} や、脱穀に使われる(①)や、もみがらやごみを吹き飛ばす(②)などが開発された。	①	
		②	
8	有力な商工業者がつくった同業者組合を(①)という。また金・銀・銭の3種類のお金の交換をおこなう、現在の銀行のような仕事の商人を(②)という。	①	②
9	江戸・大阪・京都は三都として栄えた。大阪は全国の産物が集められたため(①)とよばれた。大名らが大阪につくった、米などを保管する倉庫を(②)という。	①	②
10	陸上交通では、幕府は江戸の日本橋を起点とする()という道を定めた。		

11	問10の道路について。江戸から太平洋側をまわって京都まで行く道を(①)道といい、江戸から群馬～長野と内陸を通り京都へ向かう道を(②)道という。	①	②
12	幕府は道の要所に(①)を設けて出入りを見張った。箱根などが有名。江戸への鉄砲持ち込みと、江戸から女性が出ることの厳しい監視を「②」という。	①	②
13	手紙などを運ぶ(①)による通信も整備された。また江戸を防衛するために(②)川など大きな川に橋はかけられなかった。	①	②
14	水上交通では日本海側の米などを、東北から津軽海峡まわりで江戸に送る(①)航路と、東北から→瀬戸内海を通して大阪に送る(②)航路が開かれた。	①	②
15	蝦夷地 <small>えぞち</small> から、肥料にもなる(①)やこんぶなどを大阪に運んだ船を(②)という。	①	②
16	5代將軍徳川綱吉のころ、大阪・京都などの(①)では、人情味の豊かな町人中心の文化が栄えた。この文化を(②)文化という。	①	②
17	町人などの庶民の子どもに、読み・書き・そろばんなどを教えた教育機関を漢字で答えよ。		
18	自然と人生を見つめ、俳諧 <small>はいかい</small> を芸術に高めた人物を()という。東北～北陸を旅した紀行文を「奥の細道」という。		
19	人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書いた人物は(①)で、浮世草子といわれる町人の小説を書いた人物は(②)である。下記の「人物選択肢」から選び記号で答えよ。	①	②
20	中国の孔子 <small>こうし</small> が始めた教えを儒学 <small>じゆがく</small> というが、その中でも幕府が重視した身分の上下を重んじる学問を何というか。		
21	日本人本来のものの考え方を明らかにしようとする学問を(①)という。伊勢松阪の医者であった(②)は「古事記伝」を著してこの学問を大成した。	①	②
22	ヨーロッパの学問を研究する学問を(①)という。ドイツ人の(②)は長崎に鳴滝塾をつくり医学を広めた。	①	②
23	前野良沢や杉田玄白は辞書なしでオランダ語の医学書を翻訳し、『 』として出版した。		

24	19世紀初めに栄えた、こっけいや皮肉を楽しむ町人文化を(①)文化という。①文化の中心地は(②)であった。	①	②
25	『 ^{ふがく} 富嶽三十六景』の作者は(①)であり、『東海道五十三次』の作者は(②)である。下記の「人物選択肢」から選び記号で答えよ。	①	②

人物選択肢

ア、^{じっぺんしゃいっく}十返舎一九
 工、^{かつしかほくさい}葛飾北斎

イ、^{うたがわひろしげ}歌川広重
 オ、^{いはらさいかく}井原西鶴

ウ、^{ちかまつもんざえもん}近松門左衛門

小5

◆江戸時代（2）◆

下巻11回

氏名

満点 とれ太

得点

各4点
100点

1	江戸時代に幕府や藩が新しい耕地を開墾 ^{かいこん} することを(①)という。この結果、豊臣秀吉から100年ほどの間に耕地は(②)倍になった。	①新田開発	②2
2	農業の肥料として、魚をつかった肥料を(①)といい、菜の花をつかった肥料を(②)という。	①ほしか	② ^{あぶら} 油かす
3	問2の魚をつかった肥料とは、主に九十九里浜などで地引き網でとった()という魚を肥料にした。	いわし	
4	大商人は農民たちを工場に集め、分業で製品を作らせたが、このような生産方法を()という。	マニファクチュア (工場制手工業)	
5	問4の工業の実例としては、野田の(①)や、灘 ^{なだ} の(②)、桐生の絹織物 ^{きりゆう} などが、このやり方で生産されていた。	①しょう油	②酒
6	商品作物の生産がさかんになり、最上川流域で作られた(①)や、阿波 ^{あわ} (徳島)で作られた(②)などの染料がさかんに作られた。	①紅花	② ^{あい} 藍
7	農具として、深く耕せる備中ぐわ ^{びちゅう} や、脱穀に使われる(①)や、もみがらやごみを吹き飛ばす(②)などが開発された。	①千歯こぎ	
		② ^{とう} 唐み	
8	有力な商工業者がつくった同業者組合を(①)という。また金・銀・銭の3種類のお金の交換をおこなう、現在の銀行のような仕事の商人を(②)という。	① ^{かぶな かま} 株仲間	② ^{りょうがえしょう} 両替商
9	江戸・大阪・京都は三都として栄えた。大阪は全国の産物が集められたため(①)とよばれた。大名らが大阪につくった、米などを保管する倉庫を(②)という。	①天下の台所	② ^{くらやしき} 蔵屋敷
10	陸上交通では、幕府は江戸の日本橋を起点とする()という道を定めた。	五街道	

11	問10の道路について。江戸から太平洋側をまわって京都まで行く道を(①)道といい、江戸から群馬～長野と内陸を通り京都へ向かう道を(②)道という。	①東海	②中山 <small>なかせん</small>
12	幕府は道の要所に(①)を設けて出入りを見張った。箱根などが有名。江戸への鉄砲持ち込みと、江戸から女性が出ることの厳しい監視を「②」という。	①関所	②入り鉄砲に出女
13	手紙などを運ぶ(①)による通信も整備された。また江戸を防衛するために(②)川など大きな川に橋はかけられなかった。	①飛脚 <small>ひきやく</small>	②大井
14	水上交通では日本海側の米などを、東北から津軽海峡まわりで江戸に送る(①)航路と、東北から→瀬戸内海を通して大阪に送る(②)航路が開かれた。	①東廻り <small>ひがしまわ</small>	②西廻り <small>にしまわ</small>
15	蝦夷地から、肥料にもなる(①)やこんぶなどを大阪に運んだ船を(②)という。	①にしん	②北前船 <small>きたまえぶね</small>
16	5代将軍徳川綱吉のころ、大阪・京都などの(①)では、人情味の豊かな町人中心の文化が栄えた。この文化を(②)文化という。	①上方 <small>かみがた</small>	②元禄 <small>げんろく</small>
17	町人などの庶民の子どもに、読み・書き・そろばんなどを教えた教育機関を漢字で答えよ。	寺子屋	
18	自然と人生を見つめ、俳諧を芸術に高めた人物を()という。東北～北陸を旅した紀行文を「奥の細道」という。	松尾芭蕉 <small>まつおばしょう</small>	
19	人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書いた人物は(①)で、浮世草子といわれる町人の小説を書いた人物は(②)である。下記の「人物選択肢」から選び記号で答えよ。	①ウ	②オ
20	中国の孔子が始めた教えを儒学というが、その中でも幕府が重視した身分の上下を重んじる学問を何というか。	朱子学 <small>しゅしがく</small>	
21	日本人本来のものの考え方を明らかにしようとする学問を(①)という。伊勢松阪の医者であった(②)は「古事記伝」を著してこの学問を大成した。	①国学	②本居宣長 <small>もとおりのりなが</small>
22	ヨーロッパの学問を研究する学問を(①)という。ドイツ人の(②)は長崎に鳴滝塾をつくり医学を広めた。	①蘭学 <small>らんがく</small>	②シーボルト
23	前野良沢や杉田玄白は辞書なしでオランダ語の医学書を翻訳し、『 』として出版した。	解体新書	

24	19世紀初めに栄えた、こっけいや皮肉を楽しむ町人文化を(①)文化という。①文化の中心地は(②)であった。	かせい ①化政	②江戸
25	『 ^{ふがく} 富嶽三十六景』の作者は(①)であり、『東海道五十三次』の作者は(②)である。下記の「人物選択肢」から選び記号で答えよ。	①エ	②イ

人物選択肢		
ア、 ^{じっぺんしゃいっく} 十返舎一九	イ、 ^{うたがわひろしげ} 歌川広重	ウ、 ^{ちかまつもんざえもん} 近松門左衛門
エ、 ^{かつしかほくさい} 葛飾北斎	オ、 ^{いはらさいかく} 井原西鶴	